

ブラッセル日本人学校  
校長 岡田 真治

ブラッセル日本人学校における新型コロナウイルス感染症への対応について  
(第七報の2)

青葉の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から本校教育活動の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

5月27日夜、協調委員会が開催され、幼稚園・小学校・中学校等の再開について議論が行われました。その結果について首相府声明文が発表されました。ベルギーにおいて、学校の漸進的再開を継続するという一方で、衛生措置（頻繁に手を洗う等）はすべての者にとって引き続き最重要事項であるとしながら、小学校においてはクラス単位の活動を認めるなど緩和措置も示されています。

一方で中学校以上においては接触グループの人数制限が継続され（14人以下）グループごとの接触もできません。そのため個々のグループごとに動線確保をしたり休み時間をずらすなどの困難な対応が必要となってきます。令和2年度赴任予定の7名の教員の派遣も実現できていないなか、これらの制限に対応するのが困難な状況です。

よって、当面以下のように学校運営を行って参りますのでご理解とご協力を宜しくお願い致します。今後も、常に関係機関と連携し正しい情報の収集に努めながら状況の変化に即時対応することを心がけて参ります。これまで通り、ブラッセル日本人学校の関係者として矜持をもって落ち着いて行動していきましょう。

記

1 今後の部分登校計画について

(1) これまで、小学部1, 2, 6年生, 中学部2, 3年生について部分登校を実施することができました。子供たちの元気な姿と出会い大変嬉しく思いました。今後は、未だ登校できていない小学部3, 4, 5年生と中学部1年生の登校について優先して実施します。

(2) 今回の部分登校実施（5月18日～29日）を検証しました。登校は一学年の午前中授業で実施しましたが、様々な保健安全衛生面からの制約があることや、インターネットを活用した授業（以下、オンライン授業）を並行して行う困難さがありました。主なものをあげますと、①人数制限（クラスを再編成するか体育館による社会的距離を確保した合同授業の実施）や社会的距離の確保②教師による授業中の移動制限（机間指導ができない）③班活動、話し合い活動制限④トイレや水場の使用人員制限⑤次亜塩素酸ナトリウムによる定期的な消毒⑥他学年（一時帰国児童生徒）を並行してのオンライン授業実施等、があります。

結論としてオンライン授業を中心として授業を実施し、部分登校時には学校に来ないといけない活動、児童間の交流を特に必要とする授業や課題提出、図書室での本の貸し出し、单元テスト等の実施などを行うことができる日という位置づけとします。

ただし、小学部低学年から中学部まで、それぞれの発達段階により事情が異なりますので以下のようにしたいと思います。

ア 学校全体（小学部、中学部共通）について

接触グループや社会的距離の制限等がさらに緩和され、新赴任の7名の先生方が赴任するまで、お弁当なしの午前中のみ登校を続けます。（クラスを細分化しなくてはならない現状では担任等指導者が不足しております。早期派遣の実現に向けてこれまで以上に働きかけて参りますとともに、様々な規制緩和にあわせ、工夫して完全登校を目指していきます。）それまでは、これまで通りインターネットを活用した授業と並行して部分登校を実施します。

イ 小学部について

週に1回程度の部分登校を実施します。小学部3, 4, 5年生に関しては、特に担任の一人が赴任できていないため、学年部の担任は一人での対応となります。

ウ 中学部について

理科と社会に関しては担当教諭が赴任できていません。現状ではオンライン授業実施の方が主要教科の内容を効率的に進めることができます。定期テスト実施等において登校日とします。

エ 今後の部分登校日の予定について

①中学部1年生	6月 8日 (月)	②小学部2, 5年生	6月 9日 (火)
③小学部4年生	6月10日 (水)	④小学部3年生	6月11日 (木)
⑤小学部1年生	6月12日 (金)	⑥小学部6年生	6月15日 (月)

(3) スクールバスの運用について

当面運行の予定はありません。徒歩もしくは自家用車、公共交通機関をご利用ください。

(4) 夏季休業期間は進学を控えた児童生徒にとっては進路選択に向けた体験入学や進路先の情報収集等を行う大切な時期です。まだ帰国できる状況となるわかりませんが、夏季休業期間はできるだけ確保したいと思っております。主要教科の教育課程完全実施を目指し、1学期終業式を24日(金)とする案を検討しています。また、主要教科の教育課程完全実施の見通しがつけば、年間計画通り17日(金)実施もあり得ますことを申し添えます。

2 登校時の新型コロナウイルス感染症への対応における注意事項について

詳細について第六報をご参照ください。ベルギー当局の指示において小学部の児童は、マスクを着用する必要はないとされました。欧州の文化においてマスク着用は病気になる場合の特別のものという認識があるからです。日本においてマスク着用は感染予防・防止であるとともにマナー的な面があります。よって、指導を継続します。ご理解とご協力をお願い致します。また、接触感染が強く疑われています。手洗いの励行と適時のアルコール消毒、換気の励行、ドアや窓の開放、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒等を継続していきます。

先の見通せない不安な状況が続きます。「励まし合い、高め合い、志し高く」の精神で乗り切って参りましょう。

○ この件に関してご不明な点は、担当までご連絡ください。

担当 岡田 真治 矢野千恵子 電話 日本人学校(02)672-1038